

安全技術

三菱自動車が目指す自動車安全とは

世界では年間約119万人が交通事故により亡くなっているといわれています※。

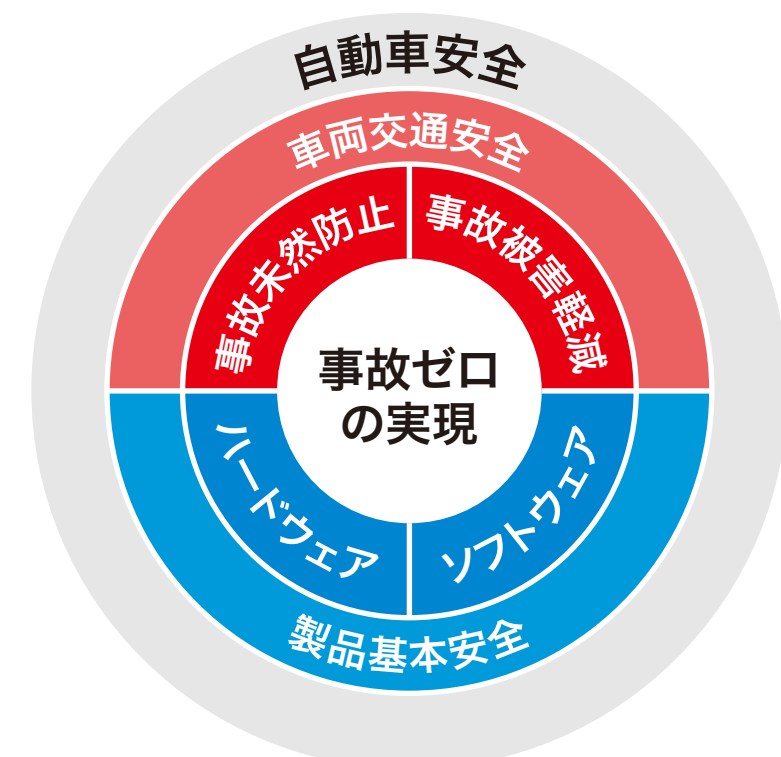
三菱自動車は、クルマづくりの企業として交通安全への責任を認識し、「道路交通事故の削減に寄与する製品の提供」を最重要課題の一つとしています。

交通事故ゼロのクルマ社会に向けた安全理念を掲げ、製品開発における安全技術の考え方として、自動車安全フレームワークを策定し、以下の3点を軸として取り組んでいます。

- ① 交通事故を未然に防止する技術(予防安全)
- ② 交通事故による被害を軽減する技術(衝突安全)
- ③ 工業製品としてハードウェア、ソフトウェア両面から想定される危険の回避(製品基本安全)

さまざまな安全技術を製品に反映することによって、お客様に、安全、安心かつ快適な運転をしていただけることを目指しています。

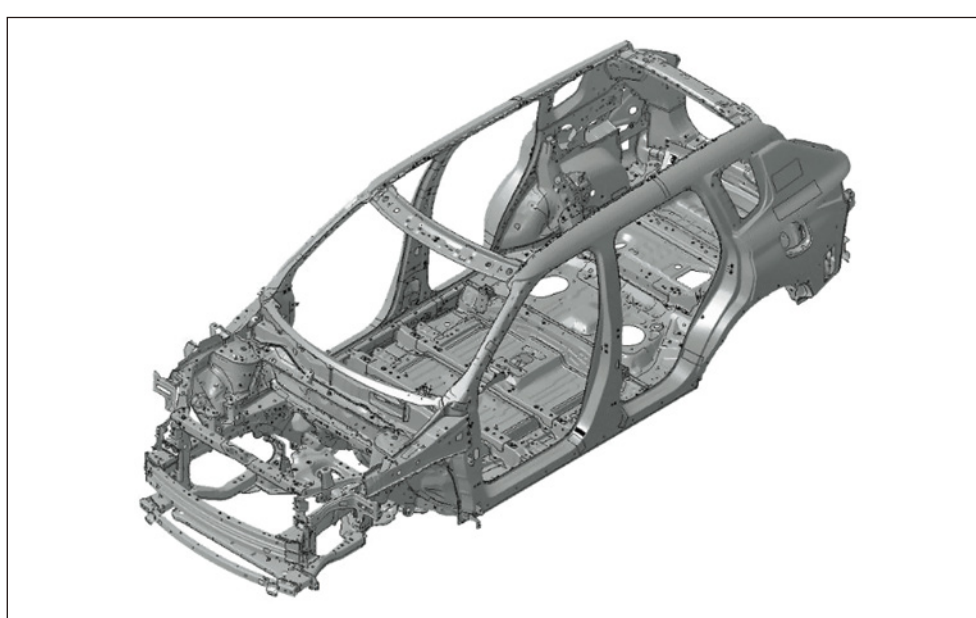
※2023年 世界保健機関(WHO)調査より



自動車安全フレームワーク



三菱 **e-Assist**



衝突安全強化ボディRISE
RISE = Reinforced Impact Safety Evolution



SRSエアバッグ
SRS = Supplemental Restraint System

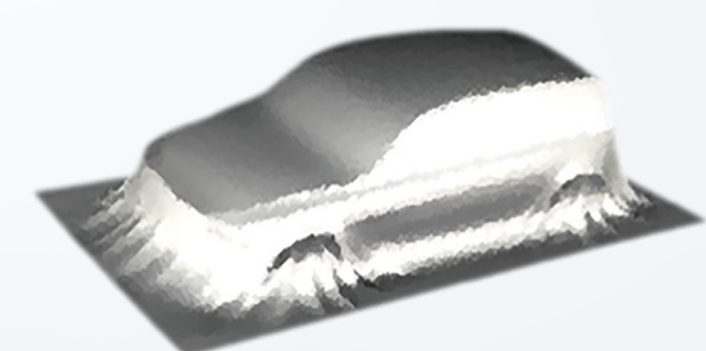
三菱自動車らしさと技術の進化

三菱自動車らしさとは、『環境×安全・安心・快適』を実現する技術に裏付けられた信頼感により、『冒険心』を呼び覚ます心豊かなモビリティライフを提供する事です。この三菱自動車らしさを体現するため、どんな冒険からも家族と一緒に無事に帰ることができるクルマづくりを目指し、安全・安心の技術をさらに進化させていきます。

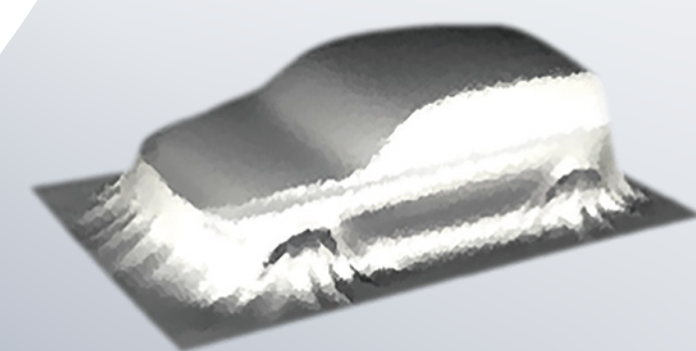
例えば、センシングの性能向上・範囲拡大により、安全支援のシーンを増やしていきます。さらに、インフラ協調安全支援や回避技術の向上によって、事故ゼロのクルマ社会の実現を目指していきます。



交通事故ゼロのクルマ社会へ



緊急回避シーンの拡大
インフラ協調安全支援



センシング範囲の拡大

安全技術の進化



FCM※搭載

※FCM = Forward Collision Mitigation system(衝突被害軽減ブレーキシステム)



検知対象の拡大



センサフュージョン
による制御精度UP